

第7回クリーンセンター連絡協議会 要点録

【日 時】 令和2年2月11日(火・祝) 午前11時00分～11時55分

【場 所】 クリーンセンター袋倉庫2階 会議室2

【出席者】

会 長：新石自治会

委 員：新石自治会 2名 新井自治会 2名 落川上自治会 2名
百草園団地自治会 2名 百草園自治会 1名

事務局：日野市 7名（環境共生部長、クリーンセンター長、環境共生部参事、
ごみゼロ推進課長、施設課長、施設課主幹、施設課課長
補佐）

国分寺市 1名（建設環境部長）

小金井市 1名（環境部長）

浅川清流環境組合 3名（事務局長、事業課長、総務課主幹）

【傍聴者】 8名

【配付資料】

- ・次第 「第7回クリーンセンター連絡協議会 次第」
- ・資料1 「プラスチック類資源化施設 試運転状況（1月）1日当たりの処理量・搬出量」
- ・資料2 「新可燃ごみ処理施設の試運転状況について」
- ・資料3 「クリーンセンター周辺自治会対象の新施設見学会の開催について」
- ・資料4 「令和2年度からのクリーンセンター連絡協議会について」

【次 第】

<前回（第6回連絡協議会）における発言の訂正>

浅川清流環境組合から以下の2点について発言の訂正を報告。

- ・新可燃ごみ処理施設の余剰電力は発電能力の何割程度かの質問に対する回答として、「9割程度」から「8割程度」に訂正する。
- ・第6回協議会で説明した「運転停止・再開フロー（案）」の中で、基準値を超える事態が生じた場合の流れについて、運営会社より「事態収拾を報告」とあるが、これはあくまでも「焼却炉の運転を停止したときにのみ報告」という意味である。

1 開会

2 議事

(1) 日野市

①プラスチック類資源化施設の試運転状況について

<説明内容>

日野市から資料1に基づき説明を行った。

- ・プラスチック類資源化施設の処理量は、プラごみ18.7トン、不燃ごみ9.1トン、あわせて27.8トン処理できる施設となっている。
- ・1月の平均処理量・搬出量は、プラごみ8.6トン、不燃ごみ3.2トン容リプラ5.5トン、製品プラ2.6トン、鉄・アルミ0.9トン、残さ2.8トンとなっている。
- ・第1週の1/6から1/10にかけての試運転期間では、プラごみ、不燃ごみともに混在しているものが若干入っているため、分別のお願いをしている状況。
- ・1/20から1/24の予備性能試験、1/27から1/31の引渡性能試験は順調である。2月中旬から、4月の本稼働に向けて委託業者への引継ぎ等を行う。
- ・資料1の裏面は、プラスチック類ごみ袋の使用状況について写真で比較した。

<質疑・応答>

(委員)：プラスチックごみと不燃ごみの中身は確認しているか。

(日野市)：表の量は袋の色分けにより割り出している。

(委員)：表の中で平均値の処理量の合計が合わないのはなぜか。

(日野市)：平均値は端数の関係がある。あとは残さによるもの。

(2) 浅川清流環境組合

<説明内容>

① 新可燃ごみ処理施設の試運転状況について

浅川清流環境組合から資料2に基づき説明を行った。

- ・12/19、12/20、1/6、1/7のごみの搬入状況について説明。
- ・1/20より3市すべての可燃ごみの受入れを開始。
- ・1/20は搬入車両台数238台、搬入量は311トン。1/21は搬入車両台数218台、搬入量は272トン。

② 環境定点測定について

浅川清流環境組合から口頭で説明を行った。

- ・令和元年度冬季測定について、測定地点として上落川公園を追加して実施。
- ・速報だが上落川公園の結果は、約500メートル北に位置する落川交流センターの結果とほぼ同程度。
- ・最終的な結果は、3月上旬から中旬に組合ホームページで公表を予定。

<質疑・応答>

(委員)：公害表示盤のモニター設置はいつ頃になるのか。

(組合)：設置予定の3か所に同時並行で設置予定。表示開始は、3/27を予定している。

(委員)：新施設の屋根から煙というか蒸気というかが見えるが、何なのか。

試運転当初は大きな煙が見えた。

(組 合) : 建物屋上から出ている白い煙のようなものは水蒸気で、焼却炉を立ち上げるときに多く発生する。また、試運転を開始した当初に出ている水蒸気は、高圧蒸気配管内のちりやほこりを取り除くための洗浄に使用した水蒸気である。

(委 員) : 季節によって、水蒸気が目立つということか。寒い冬場は目立つということか。

(組 合) : そのとおり。

(委 員) : 煙ではなく水蒸気ということで安心した。

(委 員) : ごみ搬入量は、今後、インターネット上で確認できるか。

(組 合) : ごみ搬入量のお知らせの方法は、インターネット上で確認できるかも含めて今後検討する。

(委 員) : 売電で得た収入はどこに入るようになるのか。

(組 合) : 浅川清流環境組合に入って、運営にかかった費用に充てることになる。

(委 員) : そのお金を地元に戻元してほしいと思っているがどうか。

(組 合) : 国の交付金をいただいているので、3市に売電収入を配るということはできない。

(委 員) : 一番ごみの量が多い時期と家庭系、事業系のごみ量の割合はどうなっているか。

(組 合) : ごみ量が多い時期は、あくまで統計上であるが12月、1月の年末年始の時期だと思われる。家庭系、事業系、プラスチック系の割合比率は1月分で見るとおおよそ7:2:1である。

3 その他

① 施設周辺地元自治会対象施設見学会について

② 今後の連絡協議会の開催時期について

<説明内容>

日野市から資料3及び資料4に基づき説明を行った。

- ・一般の施設見学は、5/18から開始する予定だが、それに先立ち周辺自治会対象の施設見学会を開催するためのご案内。
- ・施設見学の実施日は、4/21、4/23、4/24の午前、午後を予定しており、所要時間は、可燃ごみ処理施設を60分、プラスチック類資源化施設を30分で予定。
- ・令和2年度からのクリーンセンター連絡協議会について、会議の開催は、年2回とし、7月と2月を基本とする。必要に応じて会長が臨時の会議を招集する。

日野市から口頭で説明を行った。

- ・プラスチック類資源化施設と新可燃ごみ処理施設の竣工式のお知らせ。令

和2年3月28日(土)、詳細は別途ご連絡。

- ・プラスチック類資源化施設と新可燃ごみ処理施設の本格稼働に伴う説明会について。周辺住民対象を1回、全市民対象を2回開催する予定。

<質疑・応答>

(委員)：資料4にあるとおり、来年度のクリーンセンター連絡協議会は、年4回から年2回になるということによろしいか。

(日野市)：そのとおり

(委員)：4月の自治会対象の施設見学会は、同じ日に参加が集中したらどうするのか。

(日野市)：1日につき会場の関係で120名までは対応可能と考えている。

(委員)：自治会対象の施設見学会は、土曜、日曜日に開催はできないか。祝日も含めて。

(日野市)：4月の参加申し込みの状況を見て、検討したい。

(委員)：本日の配布資料を回覧するということがよいか。

(日野市)：後日、自治会長あてに回覧資料を送付する。

(委員)：見学会には、車で行ってもよいか。

(日野市)：ある程度は止められるが、平日はごみ収集車も通るので、なるべく車での来場は少ない方が助かる。

(委員)：申込書の修正が可能なら周辺地元自治会名を具体的に記載したほうがよいのでは。

(日野市)：申込書を修正し、2/14までに会長あてに送付する。

(委員)：5月18日からの施設見学の受付は、個人でも申し込み可能か。

(日野市)：新可燃ごみ処理施設は、随時可能だがプラスチック類資源化施設は、予約が必要となる予定である。

(委員)：施設見学で小学校の受け入れはどうするのか。

(日野市)：校長会を通じて小学生の受け入れをお知らせする予定である。

<事務局より連絡>

- ・特になし

4 閉会

以上